

## 令和3年産小麦の作況と麦類の当面の技術対策

技術支援課  
(普及指導室)

生育の概況	少雨による乾燥の影響により、播種が遅れたほ場等で出芽不良や生育の停滞が見られたが、全体的に生育は順調で平年並～やや早まっている。
作業の進捗状況	麦踏み、除草剤散布、追肥

## 1 気象経過 (前橋橋地方気象台データの平年比、2月は20日まで、参考資料参照)

項目	11月	12月	1月	2月
平均気温	+1.5℃	+0.3℃	+0.5℃	+2.0℃
降水量	8%	0%	105%	148%
日照時間	113%	107%	92%	111%

## 2 生育概況

## (1) 概要

播種時期は好天が続いたため平年よりも播種作業は順調だったが、一部で12月まで行われた。播種が遅れたほ場および砕土が粗いほ場では、少雨による過度の乾燥のため出芽が不揃いとなった。

低温と乾燥が続いたため生育の停滞が見られたが、1月下旬の降雨とその後の高温のため回復した。気温の寒暖差が大きい、期間を通して気温がやや高く経過したため生育は平年並～やや早まっている。また、早播きほ場では更に前進しており、播種が遅れたほ場との生育差が見られている。

長期予報では、向こう1か月は高温が予想されているため生育の前進が見込まれるが、茎立ち後の低温遭遇時には凍霜害の発生が懸念される。

## (2) 病害虫・障害等の発生状況

病害虫、湿害等は平年より少ない。

大麦の一部で乾燥による下葉の黄化が見られる。

## (3) 作況ほ等の調査結果

作況ほの播種期の平均は11月19日(過去平均比2日早い)、2月20日現在の草丈の平均が10.7cm(同98%)、茎数の平均が1090本/m<sup>2</sup>(同127%)となっている。

農業技術センターの生育基本調査結果(小麦「さとのそら」、11月17日播種)では、2月10日現在、草丈が9.0cm(過去10カ年平均比113%)、茎数が532本/m<sup>2</sup>(同106%)となっている。

## (4) 作柄のまとめ

小麦の作柄は、各地区とも全て「並」であることから、県内の平均作柄は「並」が見込まれる。

表1 小麦作況ほ調査結果（さとのそら）

地 区	播 種 期	12月20日		2月20日	
		草 丈 cm	茎 本 数 /m <sup>2</sup>	草 丈 cm	茎 本 数 /m <sup>2</sup>
平 均	11月19日(-2日)	8.4(118)	244(95)	10.7(97)	1090(125)
前 橋 市	11月16日(-4日)	7.9(125)	233(115)	9.5(106)	1573(202)
伊勢崎市	11月22日(+4日)	8.6(118)	222(64)	10.2(94)	856(97)
高 崎 市	11月14日(-6日)	10.8(135)	305(134)	12.1(86)	1461(119)
太 田 市	11月25日(-3日)	6.2(78)	218(92)	10.9(108)	471(95)
邑 楽 町	11月7日(-15日)	12.9(331)	375(173)	12.7(146)	1764(525)

\*各地区の( )内は過去の平均値に対する日数および比率(%)。  
 日数の「-」は早い、「+」は遅いことを示す。  
 過去の平均値は、前橋市は過去9年、伊勢崎市は同1年、高崎市は同1年、太田市は同9年。  
 邑楽町は特異値のため県平均から除外した。

表2 普及指導課・地区農業指導センター管内の麦類の作柄概況

地 区	県平均	中 部	伊勢崎	西 部	東 部	館 林
作柄概況	並	並	並	並	並	並

### 3 技術対策

#### (1) 追肥

茎立期前に追肥を実施し、収量・タンパク質の安定と向上を図る。特にパン用小麦では、出穂期頃に葉色が淡い場合は窒素成分で2～4kgの追肥を実施し、タンパク質含量の向上を図る。

追肥量は10a当たり窒素成分で「さとのそら」が2～4kg、「つるぴかり」「ゆめかおり」が2～3kg、「きぬの波」が4～6kgを目安とする。本年は少雨傾向で推移しているが、ほ場が過乾燥状態では肥料の吸収効率が低下する点に留意する。

#### (2) 麦踏み

凍上害・凍霜害・乾燥害の防止、分けつ促進および倒伏防止を図るため、麦踏みを茎立期前まで実施する。本年は早播きほ場を中心に生育が前進していることから、該当ほ場では平年より多く実施する。

また、近年は登熟期の枯れ熟れが多いことから、麦踏みの実施により根張りの向上と保水性の向上を図る。ただし、土壌水分が高い場合や湿田での過剰な麦踏みは避ける。

#### (3) 排水対策

近年は、気象が極端化する傾向があるため、ほ場の排水性に応じた対策を講じる。具体的には、排水溝の確認や連結部分の手直しを行い、大雨時の速やかな排水を図る。

#### (4) 病虫害対策

赤かび病の感染を防ぐため、ほ場周囲に放置された稲わら等を除去したり、畦畔を含めたイネ科雑草の防除を行う。

#### (5) 雑草対策

今後、麦や雑草の生育が急速に進むことから草種や生育状況を確認し、殺草限界を超えないよう適切に処理する。

【参考資料】

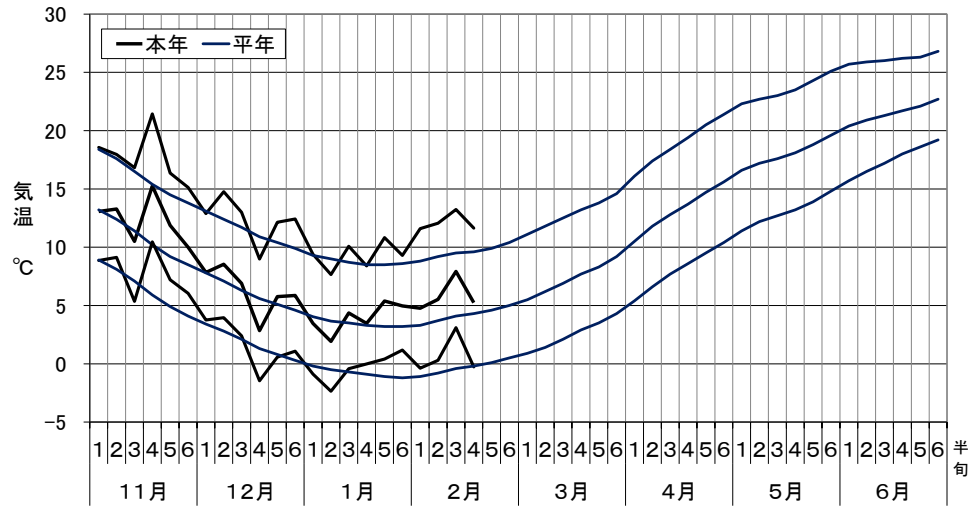


図1 麦作期間の平均気温（前橋地方気象台）

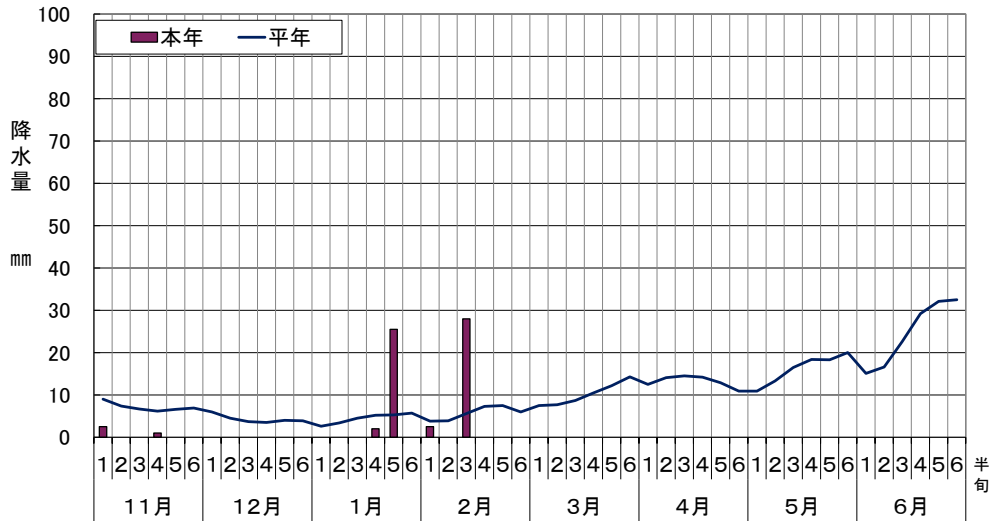


図2 麦作期間の降水量（前橋地方気象台）

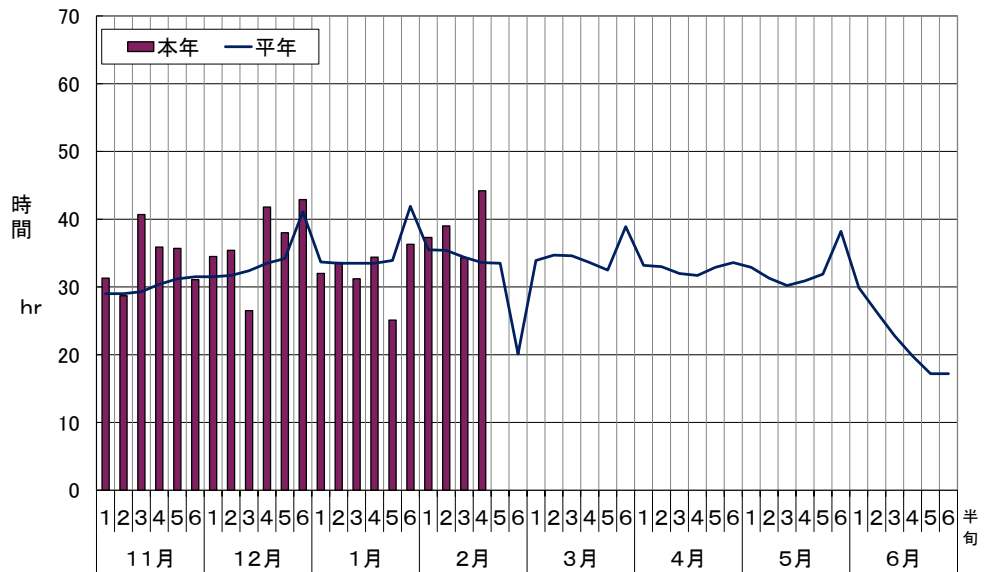


図3 麦作期間の日照時間（前橋地方気象台）